

---

# 現実と夢の境目

桜桃

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

現実と夢の境目

### 【著者名】

ZZマーク

【作者名】  
桜桃

### 【あらすじ】

「コナン君、私ね、新出先生と結婚することにしたよ。」  
この言葉の真意とは！？

この話は、名探偵コナン　自作小説  
にも掲載されています。

「『コナン君、私ね、新出先生と結婚する』ことにしたよ。」

突然の言葉。

「え？ し、新一兄ちゃんは…？」  
「…」

「コナン君、私、もう二つ歳なんだよ？ 人並みに幸せになりたいよ。」

「ら・・ん・・ねえ・・・ちゃん・・・・」

「そんな顔しないでよー。お姉ちゃんを祝福してくれないの？」

「・・・・・し、幸せになつてね・・・・」

無理やりの笑顔。

「ありがと。『コナン君。』」

(10年間もほつときつぱなしにした俺に蘭の幸せを奪う権利はない。)

「で？あなたはそれで、ノコノコと私の家に来たわけ？」

「ああ。」

「はあ。情けないわね。」

「じょうがねえだろ。蘭の幸せを奪つ権利は俺にはない。」

「甘えるんじゃないわよー。」

「え？」

「あなた、何様のつもり？…ほつときつぱなしにしておいて、幸せを奪う権利はない？」

笑わないでよ。十分あなたは彼女の幸せを奪つてたのよ。」

「…。」

「新出先生と結婚する」とが本当に彼女の幸せなの？。」

「え？」

「私はそり、思わない。彼女が一生愛するのは工藤君、あなたよ。そして、あなたも彼女を。でしょ？」

「・・・ああ。」

「だったら、やつやとこなさこよ。そして、自分の本当の気持ちを言つてきなわこ。」

「じやなこと、一生後悔するわよ。多分、彼女もね。」

「サンキュー！灰原！-！」

＝＝毛利探偵事務所＝＝

「おじさんー蘭姉ちゃんはーー？」

「まだ帰つてねえーだ。」

「え？」

「じつせ、新出先生と一緒にだる。」

コナンは必死に探し回る。

あらゆるとこをぐ。

検討もなしに。

新一と蘭の思い出の場所をただ、

ひたすら。

最後にやつてきたのは、

工藤邸。

「蘭!」

「工ナン・・・君?」

「蘭!」

「ダメ・・・だね。やつぱり、新一のことが忘れられない。  
10年待つてダメだったりあきらめつつて想つてたのに・・・」

「あきらめなくていい!だって、俺が、俺が工藤新一だから。  
結婚すんなよ!」

「・・・高校生になつたらますます似ちゃつたね。」

「似てるとかじやなくて、本当に・・・」

「あつがとつ。でもね、やつぱつ、待つのまつりこんだよ。  
『めんね。』工ナン君。」

「蘭。」

「じゃあ、私、これから新出先生と打ち合せだから。  
氣をつけて帰るのよ。コナン君。」

「待てよ、待てよーーーりあああんーーー！」

「・・・・ン君。『ナン君?』

「え?」

「大丈夫? ずいぶんうなされてたみたいだけど・・・?」

コナンを起こした蘭は制服姿。

『ナン自身もまだ、小学一年生の姿。』

「いや、蘭姉ちやんー新出先生と結婚するんじやあ・・・」

「結婚！？私はまだ17よ？それこ、新出先生と結婚するはずない  
じゃない。」

「へ、そっか・・・」

「寝ぼけてるの？」

「ううん。大丈夫、気にしないで。蘭姉ちやん。」

「もうっ。」

蘭はお茶を淹れようと

台所へと向かう。

「ね、ねえー。」

「なあーっ。」

「もし、10年たつても20年たつても新一兄ちやんが戻らないこと  
わかぢりあるわ。」

「・・・おちりあるよ。」

「え？」

「でも、待つてる。」

「ど、どういう意味？」

「私の新一への思いが通じる」とはあきらめる。  
でも、死んでも戻つてくるつていう新一の言葉を信じて、待つて  
る。

それがたとえ、10年でも、20年でも。」

真剣なまなざし。

「う・・・んねえ・・ちゃん。」

「もつーこきなつ変なこと聞くから驚こりやつたじゃない。」

「うーめんな。で、でもね！新一兄ちゃんはこいつでも蘭姉ちゃん  
のこと  
思つてるからねー。」

「・・・だといへね。」

「ナンはこのとおり、

元に戻りたいと思ったことはないだろ？」

夢がいつ、現実なるか・・・

わからないのだから。

(後書き)

意味不明でどうもすいません。

見ていただいた方にお詫び申しあげます。

理解いただけた人はいたでしょか?

一人でもいてほしいのですが・・・

つとまあ、今後の作品もよろしくお願ひいたします。

桜桃

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7830m/>

---

現実と夢の境目

2011年10月7日03時45分発行